

校訓	真善美	令和7年度 学校だより	発行日	令和8年2月5日
教育目標	自ら考え、協働し、共に未来を 創造する生徒の育成 -認め合う心 確かな学力、健やかな心身を育てる-	「荒中だより」 2月 如月 第21号	発行者	伊丹市立荒牧中学校 校長 二宮 啓二

## 東風凍解【東風(はるかぜ)凍(こおり)を解く】

昨日2月4日は「立春」、もう暦の上では春を迎えます。

また、2月3日の「節分」は、「季節の分かれ目」というこ



とで、新しい春に、無病息災を祈る思いから様々な行事が催されています。標題の「東風凍解」とは、「春の暖かい東風が吹き始め、厚い氷を溶かし始める」とい

う意味で、七十二候という暦における1年の初めの候になり、立春から数日間の情景を指します。日本では「はるかぜこおりをとく」と訓読され、春の訪れを告げ

る最初の兆しとして親しまれてきました。これは、単なる気象の描写ではなく、停滞していた物事が好転し、新しい希望や生命力が芽吹き出すことの象徴としても用いられます。平安時代の貴族、菅原道真は太宰府に左遷される際に、「東風吹かば匂いおこせよ 梅の花 あるじなしとて 春な忘れそ」と詠み、東風は厳しい冬(苦境)を終わらせる希望の風としての意味合いがあります。

菅原道真は、みなさんも知っているように「学問の神様」と言われています。北野天満宮(京都)や大阪天満宮(大阪)、近くでは臂岡



天満宮(伊丹・鋳物師)など、菅原道真を祀る神社は天満宮と呼ばれ親しまれています。3年生は初詣で合格祈願をした人も多いのではないのでしょうか。修学旅行では太宰府天満宮に行きましたね。

現在、3年生は推薦・特色選抜、多部制I期試験の出願を行い、10日には私立高等学校等の受験が控えています。新聞紙上にも、各高等学校の出願倍率等が発表され、緊張感も増していますね。しかし、学校では、インフルエンザが流行しており、1年生で学級閉鎖のクラスも出ました。こまめな換気と手洗い・うがいを励行し、体調を整え、本番では、全力を発揮できるよう備えてほしいです。

兵庫県公立高等学校入試については、今年度から、インターネット出願となっています。私立高校では、5～6年前から主流となっている形ですが、兵庫県独自のシステムで運用がなされています。出願にあたっては、みなさん自身が責任を持って登録したり、申請したりする部分もあります。来年度以降の入試も、おそらく今年度の形で進むと思いますので、1・2年生のみなさんも知っておいてください。

2月には、学年末テストもあります。1年の集大成としてしっかりと準備をして臨んでほしいと思っています。特に1・2年生は、各学年での基礎学力が定着しているかどうか、3年生での学習や進路選択に大きく影響します。テストのためだけでなく、1年間のまとめとして学習内容を振り返り、自分が3年生になった時に、進路の幅を広げ「学びたいことが学べる学校」や「行きたい学校」を選ぶことができるよう、頑張してほしいです。自分の将来を見据え、主体的に家庭学習に取り組んでください。



### 【第45回卒業証書授与式】

卒業証書授与式は、3月16日(月)に実施します。9年間の義務教育を修了する、3年生にとっての大切な節目の日、巣立ちの日をたくさんの方々に見守っていただきたく思います。どうぞよろしくお願ひします。

## きらめけ☆荒中生！！

**男子バレー部** 市内冬季大会 優勝 阪神選抜大会 第3位

兵庫県中学校優勝大会 出場

**女子バスケ部** 市内冬季大会 準優勝

**男子バスケ部** 市内冬季大会 第3位

**吹奏楽部** 第35回 兵庫県アンサンブルコンテスト東阪神地区大会

金管6重奏 銀賞 管打8重奏 銀賞

